

# 心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 雲南市立田井小学校 ～

## 1. 活動の概要

6月29(木)、雲南市立田井小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに県埋蔵文化財調査センターの職員から、勾玉について話を聞きました。そして勾玉が多く出土する古墳時代の特色と、田井小学校周辺の古墳について話を聞きました。古墳が各地の有力者のお墓であること、また、島根県松江市の花仙山が瑪瑙の産地で、出雲では奈良・平安時代まで玉作が行われた地域だったことも学習することができました。そのほか、島根県内で出土した勾玉の実物資料も見ることができました。

## 2. 活動の様子 勾玉のお話と勾玉づくり



勾玉のお話



勾玉づくり



古代衣装（貫頭衣）を着て、記念写真

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1)生徒の皆さんから…

- ・勾玉を作ったり、身に着けたりできて楽しかった。古墳を見てみたいと思いました。
- ・紙やすりで勾玉をピカピカにするのが楽しかった。
- ・勾玉づくりをすることが、とつても大変だということが実感できました。
- ・勾玉づくりの体験と古墳のことを知って、もっと歴史が好きになることができました。
- ・勾玉を作るのが難しかったけど、上手にできてうれしかった。

#### 2)担任の先生から…

- ・説明が簡潔で、分かりやすかった。
- ・児童の興味や関心をひく内容の工夫(田井小の古墳、近くに入れる古墳)が良かった。
- ・勾玉づくり体験の前に、本物の勾玉を見て、触れる機会をいただいたことが、とてもよかった。
- ・どの児童も自分だけの勾玉を大切に持ち帰っていた。

#### 3)埋文センターから

- ・勾玉の「かたち」の謎、それが作られた時代と用途、それを身に着けることができた特別な人(有力者)がいたこととお話しました。とくに、有力者が眠っている古墳が、田井小学校の敷地内にかつてあったこと、また近隣に古墳がたくさんあることを紹介しました。
- 勾玉づくりでは、実物の雰囲気が出せるように、クラスみんながそれぞれに工夫していたのが印象的でした。
- ありがとうございました。